

---

## 15-6 windows8 への対応について

---

### ● 高 DPI 対応について

96DPI を基準として、DPI 値に応じて、コントロール類やグラフの表示サイズが変更されます。ただし、ボタンのアイコンは拡大されません。

例：120DPI の場合、 $120/96 = 125\%$  の大きさに拡大されます。

### ● タッチタブレットでの使い方

グラフウィンドウでの操作

- 領域移動は右ドラッグ（つまりロングタップのあとドラッグ）
- 拡大縮小はピンチによって、画面中央を中心に拡大縮小
- 任意の位置を画面中央に移動するには、その位置をダブルタップ
- 縦方向や横方向にだけ拡大縮小するには、伸縮／移動モードで操作  
任意の位置から横もしくは縦方向に（1本指で）ドラッグで拡大  
上記作業の途中で反対側に大きく動かす（Uターンする）と縮小

データパネルでの操作

- データパネル上のステッカーを移動するには、横方向にドラッグ  
（グラフウィンドウのステッカーはどのようにでもドラッグできる）
- データパネル内の各エリアのパネルや各関数（や点など）の表示位置を変更するには、  
まず横方向にドラッグしてから上下に移動
- 最初に縦方向にドラッグすると、スクロールになる  
横方向にスクロールするには、まず縦方向にドラッグしてから横に動かす。

対応できていない操作

- 点の Ctrl+ドラッグ（格子点にドラッグする操作）
- パラメータの連続増減（パラメータ増減ボタンをマウスで押しっぱなしにする操作です）  
増減ボタンをタッチのあと凹んだ状態でもう一度タッチすればよいのだが・・・  
タイミングが難しい。
- 点のドラッグも気難しい

点を指で押さえたあと素早くドラッグすればよいが、もたもたしていると右ドラッグ（領域移動）になってしまう。